

## 軽金属クラブが総会

### 2団体の活動や動向報告

日本アルミニウム協会と軽金属製品協会が共同で運営するアルミ業界関係OBの親睦交流組織「軽金属クラブ」は15日、浜松町の世界貿易センタービルにある東京会館で第42回総

あいさつする佐藤会長



会・懇親会を開催した。あいさつに立った佐藤郷会長（元日本軽金



アルミニウム産業の夜明け  
宝井琴柑

講演を披露する宝井琴柑氏

しい。OBの皆さまも当クラブの活動にこれまで以上に積極的に参加していただきたい」などと話した。

小貫健・アルミ協会理事と佐藤

属社長）は「来年はクラブ設立から50年を迎え、アルミ業界も成長・発展してきた。各社の業績をけん引してくださったOBの皆さまの力による部分が大きい」とした上で「OBの経験や知見を業界の現役の人たちが引き継ぎ、今後役立ててほ

信幸・軽金属製品協会専務理事が両協会の活動やアルミ業界の現状などを説明した後、講師の宝井琴柑氏が「アルミニウム産業の夜明け」と題する創作講演を披露。1900年に大阪で高木鶴松氏が、02年に東京で那須鐵之助氏がそれぞれアルミ加工会社を設立するまでの経緯など、日本のアルミ産業の創世期の様子を時折張り扇で釈台をたいてリズムを整えながら情豊かに語った。続いて行われた懇親会では岡本一郎・副会長（日本軽金属ホールディングス社長）があいさつ。アルミの用途は足元では順調に拡大している。自動車のアルミ化が進み、半導体関連でもアルミ使用が増えている。国内のアルミの生産量は90年代後半から400万ト体制が続き、近年は減少傾向もみられる。一方で中国のアルミ庄延メーカーは巨大な最新鋭設備を導入しており、安価な大量生産品

に関して中国からの輸入品が席巻する可能性がある」と指摘。「われわれは新たな用途を数多くつくっていく必要がある。また現在さまざまなことが取りざたされているが、品質面で勝負をかけていく

しかない」とあらためて強調した。「一寸先は闇の時代だが、軽金属クラブを先輩方から現役のわれわれにアドバイスいただく場にさせていたいただきたい」と話し、乾杯の音頭を取った。

## アルミ業界OB会「軽金属クラブ」が総会

佐藤会長「アルミ業界、順調に成長」

日本アルミニウム協会と軽金属製品協会が共同運営するアルミ業界関係OBの親睦交流組織「軽金属クラブ」



（会長・佐藤郷元日本軽金属社長）は25日、浜松町東京会館で第42回総会を開催した。冒頭、挨拶に立った佐藤会長「写真」は「日本のアルミ業界に心配な事件があるのは

確かだが、基本的には順調に業績を伸ばしてきている。これは業界をけん引してきたOBの方々の努力によることも大きいと思う」とした上で「会報の『軽金属クラブたより』に積極的に取り組んでいただきたい」と述べた。

その後、講師の宝井琴柑氏が講演「アルミニウム産業の夜明け」を本邦初披露。日本のアルミ産業の先駆けといわれる1900年に高木鶴松氏、1902年に那須鐵之助氏がアルミ加工業を開始した当時の模様を伝えた。